

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信
信託期間	14年（償還日：2028年1月20日まで）
主投資対象	親投資信託である「しんきんJリートマザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。
運用方針	①投資にあたっては、主としてマザーファンドの受益証券への投資を通じ、我が国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券に投資し、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。 ②運用にあたっては、東京証券取引所が算出・公表する「東証REIT指数（配当込み）」をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指して運用を行います。 ③マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ④市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
投資制限	①マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。 ②マザーファンドを通じて投資を行う投資信託証券への実質投資割合には制限を設けません。 ③マザーファンドを通じて投資を行う同一銘柄の投資信託証券への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%を超えないものとします。 ④株式への投資は行いません。 ⑤外貨建資産への投資は行いません。
収益分配方針	年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。 ③留保益は、上記「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

運用報告書（全体版）

しんきんJリートオープン （1年決算型）

決算日

（第2期：2016年1月20日）


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんJリートオープン（1年決算型）」は2016年1月20日に第2期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<http://www.skam.co.jp>

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 （土日、休日を除く）携帯電話・PHSからは03-5524-8181
 9:00~17:00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

目 次

◇しんきんＪリートオープン（１年決算型）	頁
設定以来の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
第２期の運用経過等	2
１万口当たりの費用明細	5
売買及び取引の状況	6
利害関係人との取引状況等	6
組入資産の明細	6
投資信託財産の構成	6
資産、負債、元本及び基準価額の状況	7
損益の状況	7
分配金のお知らせ	7
◇親投資信託の運用報告書	
しんきんＪリートマザーファンド	8

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			東証REIT指数※		投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税金 込配 分金	騰落 率	(配当込み)	騰落 率		
(設定日)	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
2014年1月21日	10,000	—	—	2,511.32	—	—	1,110
1期(2015年1月20日)	13,327	0	33.3	3,412.83	35.9	99.0	4,483
2期(2016年1月20日)	11,439	0	△14.2	2,915.49	△14.6	98.3	4,704

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注3) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万口当たり10,000円）として記載しています。

(注4) 当初設定時の東証REIT指数（配当込み）の値は、前営業日終値を表示しています。

※東証REIT指数とは、東京証券取引所に上場されている不動産投資信託（REIT）全銘柄を対象とした時価総額加重平均型の指数で、平成15年3月31日の時価総額を基準として㈱東京証券取引所が算出・公表しています。

※銘柄数の増減など市況動向によらない時価総額の増減や増資などが発生する場合は、連続性を維持するため、基準時の時価総額が修正されます。

※東証REIT指数（配当込み）の算出は、配当金落ち、有償減資の場合も基準時の時価総額の修正が行われます。

※東証REIT指数は、㈱東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など、東証REIT指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

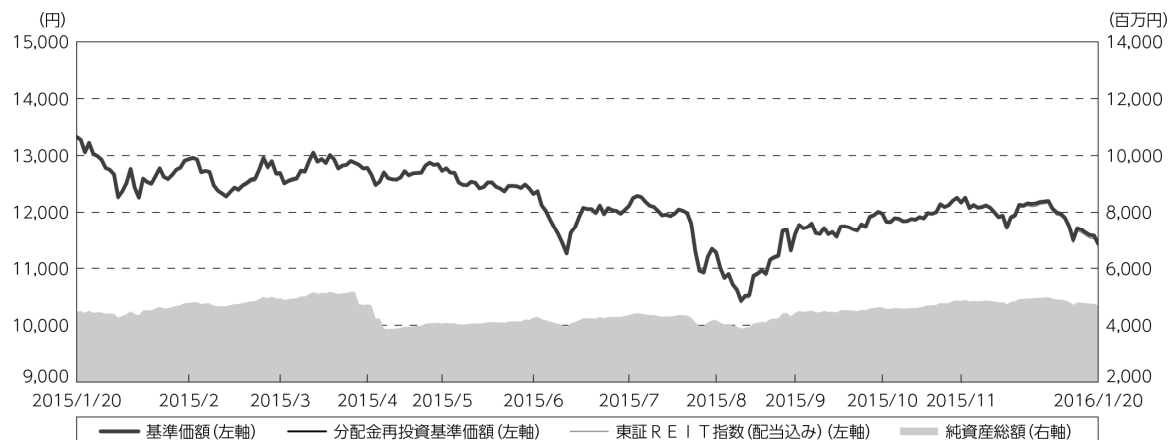
年月日	基準価額		東証REIT指数		投資信託 組入比率
	騰落率	騰落率	(配当込み)	騰落率	
(期首)	円	%	ポイント	%	%
2015年1月20日	13,327	—	3,412.83	—	99.0
1月末	12,748	△4.3	3,260.64	△4.5	97.4
2月末	12,937	△2.9	3,306.03	△3.1	98.6
3月末	12,692	△4.8	3,241.62	△5.0	98.8
4月末	12,783	△4.1	3,267.36	△4.3	98.3
5月末	12,731	△4.5	3,257.97	△4.5	98.6
6月末	12,324	△7.5	3,157.69	△7.5	98.5
7月末	12,112	△9.1	3,100.40	△9.2	98.7
8月末	11,280	△15.4	2,881.06	△15.6	98.1
9月末	11,603	△12.9	2,964.58	△13.1	98.4
10月末	11,980	△10.1	3,061.58	△10.3	98.6
11月末	12,174	△8.7	3,110.54	△8.9	98.7
12月末	12,200	△8.5	3,115.04	△8.7	98.0
(期末)					
2016年1月20日	11,439	△14.2	2,915.49	△14.6	98.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しています。

○第2期の運用経過等（2015年1月21日～2016年1月20日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額および東証REIT指数(配当込み)は、期首(2015年1月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注3) ベンチマークは、東証REIT指数(配当込み)です。

(基準価額)

当期の基準価額は、13,327円(2015年1月20日現在)からスタートし、翌日の13,276円が期中高値となりました。その後、2015年9月8日に期中安値となる10,432円まで下落しました。当期末の基準価額は、11,439円(2016年1月20日現在)と、安値からは値を戻しましたが、期中では値を下げて終了しました。

＜Jリート(不動産投信)市況＞

当期の東証REIT指数(配当込み)は、3,412.83ポイント(2015年1月20日現在)の水準から始まりました。

1月下旬から2月中旬のJリート市場は、それまで低下傾向で推移していた長期金利が上昇傾向に転じたことや、公募増資(PO)や新投資口発行(IPO)の払い込みに伴う換金売りが膨らんだことによる需給悪化などを背景に下落しました。東証REIT指数(配当込み)は、2015年1月21日の3,400.63ポイントが期中高値となりました。その後は、長期金利上昇への警戒感や、POが相次いだことによる需給悪化懸念はあったものの、不動産賃貸市場や地価が改善傾向を示す中、相場が下落する局面ではJリート市場の予想分配金利回り(おおむね3%前半)に着目した買いもあり、6月までは一進一退のレンジ内での推移となりました。しかしながら、7月に入ると、ギリシャの財政再建に向けた取組に対する不透明感や、中国株式市場が急落したことなどを背景にリスク資産を売却する動きが広がり、Jリート市場も大きく値を下げました。一旦は長期金利の低下などで反発していたJリート市場ですが、8月下旬には中国経済の減速懸念に端を発した世界株安が加速し、再び大きく下落しました。POの払込みによる換金売りなどもあり、東証REIT指数(配当込み)は9月8日に当期中最安値となる2,661.46ポイントとなりました。しかし、その後は、Jリート市場の予想分配金利回りが4%近くまで上昇して値ごろ感が強まったことや、米連邦準備制度理事会(FRB)が9月の利上げを見送ったことで金利上昇の懸念が後退したことなどが好感され、値を戻す動きとなりました。10月以降も、長期金利が低位で推移する中、株式市場も上昇基調に転じたことから、Jリート市場も値を戻す動きが続

きました。12月に入ると、米国で利上げ開始への警戒感が高まったことや原油価格が下げ止まらなかったことから、Jリート市場も値を下げる局面もありましたが、日本銀行が金融緩和の補完措置として、Jリーートの個別銘柄への買入限度額を5%から10%に引き上げたことが好感され値を戻しました。また、FRBが利上げを決定しましたが、内外の金融市場は落ち着いた動きとなり、Jリート市場への影響は限定的でした。2016年1月に入って、長期金利の低下が進んだものの、世界的に株式市場が大きく下落すると、Jリート市場も下落基調に転じました。結局、当期末（2016年1月20日）の東証REIT指数（配当込み）は、2,915.49ポイントで取引を終えました。なお、当期間において国内長期金利（10年国債利回り）は、期初の0.2%前半の水準から、6月には0.5%半ばまで上昇しましたが、期末には再び0.2%前半の水準まで低下しました。また、三鬼商事が発表している東京都心のオフィスビルにおける空室率と平均賃料（1か月の1坪当たり）は、2014年12月の5.47%、16,953円から2015年12月には4.03%、17,692円と、空室率は低下して、平均賃料は上昇しました。

期中の用途別指数では、オフィス指数、住宅指数、商業・物流等指数ともに下落しましたが、住宅指数の下落率が大きく、オフィス指数の下落率が小さくなりました。

<運用概況>

（運用経過）

当ファンドは、親投資信託である「しんきんJリートマザーファンド」の受益証券への投資を通じ、Jリートへの投資を行っています。当期中、マザーファンドの組入比率はおおむね95%以上の高位を保ちました。また、マザーファンドでは、①財務の健全性、②収益性および配当利回り、③流動性および価格水準に着目した銘柄選定を行うことにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目標として運用しました。当期は48銘柄（PO除く。）の組入れでスタートし、資金増減などに伴い銘柄の売買を実施しました。また、当期中に新規に上場した5銘柄のうち4銘柄の購入を行ったほか、野村不動産系の3銘柄が合併して1銘柄になったこともあり、期末現在では50銘柄（PO除く。）を保有しています。各銘柄の比率は、時価総額比率をベースに上記の3つの観点から勘案し調整しました。期末現在では、リートが保有している都心のオフィスビル賃料の上昇と空室率の改善を見込み、オフィスビル系の銘柄をオーバーウェイトにしているほか、インバウンド需要の取込みなどにより業績の改善が見込まれるホテル系の銘柄をオーバーウェイトにしています。

（ベンチマークとの比較）

当期末時点の基準価額の期中騰落率は $\Delta 14.2\%$ となり、東証REIT指数（配当込み）の騰落率 $\Delta 14.6\%$ を（騰落率差： 0.4 ポイント）上回りました。マザーファンドにおいては、ファンドで保有を多くしていたホテル系の銘柄の一部が上昇したことなどから、ベンチマークほど下落しませんでした。

<収益分配方針>

当期の分配金につきましては、運用実績等を勘案して見送りとしました。なお、収益分配に充てなかった部分につきましては、信託財産中に留保し運用の基本方針に基づき運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2015年1月21日～ 2016年1月20日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,908

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<今後の運用方針>

今後も引き続き「しんきんJリートマザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に保ち、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目標として運用します。

マザーファンドにおいては、引き続き運用の基本方針に従い、Jリーートの組入比率を高位に保ちながら、①財務の健全性、②収益性および配当利回り、③流動性および価格水準に着目した銘柄選定を行うことにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目標として運用します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年1月21日～2016年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 124	% 1.004	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(57)	(0.464)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(60)	(0.486)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(7)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.028	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(3)	(0.028)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	127	1.032	
期中の平均基準価額は、12,297円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2015年1月21日～2016年1月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
しんきんＪリートマザーファンド	千口 992,056	千円 2,150,100	千口 586,512	千円 1,308,500

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月21日～2016年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年1月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
しんきんＪリートマザーファンド	千口 1,915,393	千口 2,320,936	千円 4,702,448

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2016年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
しんきんＪリートマザーファンド	千円 4,702,448	% 99.5
コール・ローン等、その他	25,727	0.5
投資信託財産総額	4,728,175	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,728,175,181
コール・ローン等	25,726,398
しんきんJリートマザーファンド(評価額)	4,702,448,776
未収利息	7
(B) 負債	23,827,435
未払解約金	911,923
未払信託報酬	22,915,512
(C) 純資産総額(A-B)	4,704,347,746
元本	4,112,471,577
次期繰越損益金	591,876,169
(D) 受益権総口数	4,112,471,577口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,439円

(注1) 当ファンドの期首元本額は3,363,947,258円、期中追加設定元本額は2,172,139,131円、期中一部解約元本額は1,423,614,812円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1,1439円です。

○損益の状況 (2015年1月21日～2016年1月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,416
受取利息	1,416
(B) 有価証券売買損益	△535,318,043
売買益	73,233,041
売買損	△608,551,084
(C) 信託報酬等	△45,224,085
(D) 当期損益金(A+B+C)	△580,540,712
(E) 前期繰越損益金	596,151,229
(F) 追加信託差損益金	576,265,652
(配当等相当額)	(493,028,014)
(売買損益相当額)	(83,237,638)
(G) 計(D+E+F)	591,876,169
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	591,876,169
追加信託差損益金	576,265,652
(配当等相当額)	(495,910,623)
(売買損益相当額)	(80,355,029)
分配準備積立金	700,084,035
繰越損益金	△684,473,518

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(103,932,806円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(495,910,623円)および分配準備積立金(596,151,229円)より分配対象収益は1,195,994,658円(10,000口当たり2,908円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

運用報告書

親投資信託

しんきんJリートマザーファンド

第11期

(決算日：2016年1月20日)

しんきんJリートマザーファンドの第11期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

信託期間	無期限
主要投資対象	我が国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方針	①我が国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託証券を主要投資対象とし、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。 ②運用にあたっては、東京証券取引所が算出・公表する「東証REIT指数（配当込み）」をベンチマークとし、これを中長期的に上回る運用成果を目指して運用を行います。 ③不動産投資信託証券の銘柄の選定にあたっては、主に次の項目に着目して行うことを基本とします。 <財務分析>不動産投資信託証券の財務内容を分析し、信用リスクが高いと判断される銘柄を除外します。 <収益性分析>不動産投資信託証券の収益性および予想配当利回りの水準を分析します。 <流動性・価格分析>不動産投資信託証券の流動性（時価総額・売買代金など）や価格水準の側面から分析します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%を超えないものとします。・株式への投資は行いません。・外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		東証REIT指数※ (配当込み)		投資信託 組入比	純資産額
	円	騰落率	ポイント	騰落率		
7期(2012年1月20日)	8,810	△20.8	1,275.90	△20.9	98.1	27,804
8期(2013年1月21日)	12,572	42.7	1,839.43	44.2	98.1	55,805
9期(2014年1月20日)	17,391	38.3	2,511.32	36.5	98.8	113,791
10期(2015年1月20日)	23,398	34.5	3,412.83	35.9	99.1	189,377
11期(2016年1月20日)	20,261	△13.4	2,915.49	△14.6	98.3	219,208

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		東証REIT指数※ (配当込み)		投資信託 組入比	託券率
	円	騰落率	ポイント	騰落率		
(期首) 2015年1月20日	23,398	—	3,412.83	—	99.1	%
1月末	22,386	△4.3	3,260.64	△4.5	97.4	%
2月末	22,736	△2.8	3,306.03	△3.1	98.6	%
3月末	22,324	△4.6	3,241.62	△5.0	98.8	%
4月末	22,495	△3.9	3,267.36	△4.3	98.3	%
5月末	22,407	△4.2	3,257.97	△4.5	98.7	%
6月末	21,710	△7.2	3,157.69	△7.5	98.6	%
7月末	21,353	△8.7	3,100.40	△9.2	98.8	%
8月末	19,904	△14.9	2,881.06	△15.6	98.2	%
9月末	20,490	△12.4	2,964.58	△13.1	98.4	%
10月末	21,173	△9.5	3,061.58	△10.3	98.6	%
11月末	21,534	△8.0	3,110.54	△8.9	98.7	%
12月末	21,596	△7.7	3,115.04	△8.7	98.0	%
(期末) 2016年1月20日	20,261	△13.4	2,915.49	△14.6	98.3	%

(注) 騰落率は期首比です。

※東証REIT指数とは、東京証券取引所に上場されている不動産投資信託(REIT)全銘柄を対象とした時価総額加重平均型の指数で、平成15年3月31日の時価総額を基準として東京証券取引所が算出・公表しています。

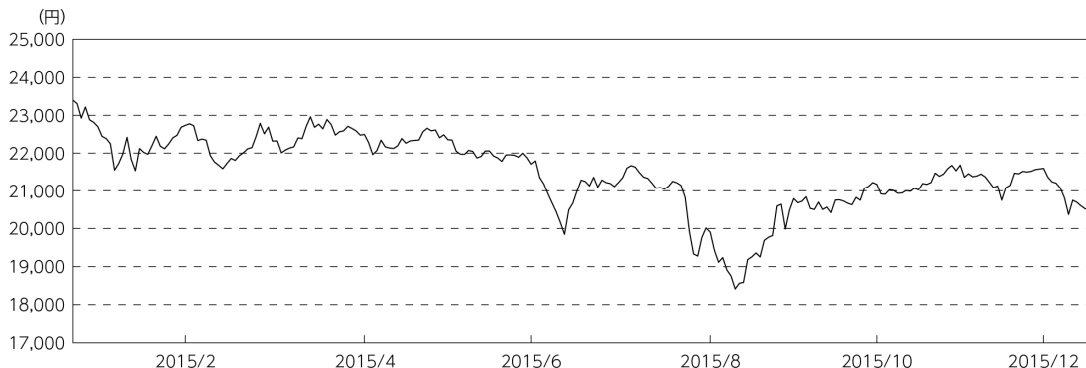
※銘柄数の増減など市況動向によらない時価総額の増減や増資などが発生する場合は、連続性を維持するため、基準時の時価総額が修正されます。

※東証REIT指数(配当込み)の算出は、配当金落ち、有償減資の場合も基準時の時価総額の修正が行われます。

※東証REIT指数は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など、東証REIT指数に関するすべての権利は東京証券取引所が有しています。

○第11期運用経過等（2015年1月21日～2016年1月20日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



（基準価額）

当期の基準価額は、23,398円（2015年1月20日現在）からスタートした後、2015年1月21日に23,309円と下落して始まりましたが、この値が期中高値となりました。その後、長期金利が上昇傾向で推移したことや、公募増資（PO）や新投資口発行（IPO）が相次いだことによる需給懸念が広がるなど悪材料はありましたが、東京都心の賃貸オフィス市場が持続的に改善していることや、Jリート市場の予想分配金利回りに着目した買い需要もあったことから、Jリート市場は一進一退の動きとなり、基準価額も21,500円から23,000円のレンジ内での動きとなりました。しかしながら、7月に入り中国経済への不透明感が台頭しリスク資産回避の動きが広がると、基準価額は20,000円を下回る水準に下落しました。一旦は21,000円台に回復した基準価額ですが、8月下旬に世界的な株安が加速すると19,000円を下回り、2015年9月8日には18,411円まで下落し、期中安値となりました。その後は、金融市場も落ち着きを取り戻したことから基準価額も回復し、11月にはおおむね21,000円台での推移となりました。12月には米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げを決定しましたが、影響は限定的でした。しかし、年が明けて2016年1月に入ると原油安などを背景に株式市場が大きく値を下げた影響を受け、基準価額は20,000円台に下落し、当期末の基準価額は20,261円（2016年1月20日現在）で終了しました。

＜運用概況＞

（運用経過）

ファンドの運用方針に従い、①財務の健全性、②収益性および配当利回り、③流動性および価格水準の観点から銘柄を精査し、期末現在で50銘柄（PO除く。）を組み入れています。追加設定・解約のほか、売り出しなど必要に応じてJリーートの売買を実施しました。Jリーートの組入比率は高位を保ち、期末には98.34%となっています。

（組入銘柄）

当期は48銘柄（PO除く。）の組入でスタートしました。その後、資金増減などに伴い銘柄の売買を実施したほか、新規に上場した5銘柄のうち4銘柄を購入しました。10月に野村不動産系の3銘柄が合併して1銘柄になったこともあり、期末現在では50銘柄（PO除く。）を保有しています。各銘柄の比率は、時価総額比

率をベースに上記の3つの観点を勘案し調整しました。期末現在では、リートが保有している都心のオフィスビル賃料の相対的な安定感と空室率の改善を見込み、オフィスビル系の銘柄をオーバーウエートにしているほか、インバウンド需要の取り込みにより業績の改善が見込まれるホテル系の銘柄をオーバーウエートにしています。なお、銘柄選択においては、信用力や配当の安定性なども重視しています。

（ベンチマークとの比較）

当期末時点の基準価額の期中騰落率は△13.4%となり、東証REIT指数（配当込み）の騰落率△14.6%を（騰落率差：1.2%）上回りました。

<要因分析>

（組入比率）

期を通して組入比率は90%以上で高位を保ちました。その結果、組入比率の変動による影響は軽微でした。

（個別銘柄）

ファンドの個別銘柄では、期中において指数対比でオーバーウエートしていたインヴィンシブル投資法人、ジャパン・ホテル・リート投資法人などの騰落率（配当込み）が指数を上回ったことや、アンダーウエートしていた平和不動産リート投資法人、大和ハウス・レジデンシャル投資法人などの騰落率（配当込み）が指数を下回ったことがプラス要因となりました。

（その他）

その他の要因としましては、売買コスト等がマイナス要因になっています。

<今後の運用方針>

引き続き運用の基本方針に従い、Jリーートの組入比率は高位を保ちながら、①財務の健全性、②収益性および配当利回り、③流動性および価格水準に着目した銘柄選定を行うことにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を目標として運用します。

○1万口当たりの費用明細

(2015年1月21日～2016年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 6 (6)	% 0.028 (0.028)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	6	0.028	
期中の平均基準価額は、21,675円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2015年1月21日～2016年1月20日)

投資信託証券

銘 柄	買 付		売 付		
	口 数	金 額	口 数	金 額	
国 内	日本アコモデーションファンド投資法人	7.043 (0.236)	3,214,385 (104,752)	0.05	22,344
	日本アコモデーションファンド投資法人 PO	0.236 (△ 0.236)	104,752 (△ 104,752)	—	—
	MCUBS MidCity投資法人	7.698	2,577,329	0.04	12,638
	森ヒルズリート投資法人	9.759	1,503,466	0.2	28,470
	野村不動産レジデンシャル投資法人	0.758 (△ 1.588)	509,989 (△ 1,114,707)	0.275	182,605
	産業ファンド投資法人	2.746	1,458,398	0.7	392,503
	大和ハウスリート投資法人	1.581	793,033	0.89	455,493
	アドバンス・レジデンス投資法人	0.976	267,058	1.521	435,393
	ケネディクス・レジデンシャル投資法人	3.884	1,340,727	1.12	333,487
	アクティピア・プロパティーズ投資法人	4.394 (6.939)	3,143,787 (—)	0.015	15,772
GLP投資法人	17.505 (0.969)	2,073,125 (110,634)	1.253	154,370	
GLP投資法人 PO	0.969 (△ 0.969)	110,634 (△ 110,634)	—	—	

しんきんＪリートマザーファンド ー第11期ー

銘柄	買付		売却		
	口数	金額	口数	金額	
		千口	千円	千口	千円
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	1.055 (0.626)	267,569 (168,068)	-	-	
コンフォリア・レジデンシャル投資法人 PO	0.434 (△ 0.626)	84,989 (△ 168,068)	-	-	
日本プロロジスリート投資法人	4.898	1,190,049	0.12	28,188	
野村不動産マスターファンド投資法人	12.599 (△ 37.402)	1,859,870 (△ 5,751,883)	0.2	30,375	
星野リゾート・リート投資法人	0.776 (0.679)	982,399 (861,913)	-	-	
星野リゾート・リート投資法人 PO	0.679 (△ 0.679)	861,913 (△ 861,913)	-	-	
イオンリート投資法人	6.795	993,452	1.95	320,627	
ヒューリックリート投資法人	5.988	960,893	0.091	15,138	
日本リート投資法人	7.014 (2.903)	2,226,436 (821,310)	-	-	
日本リート投資法人 PO	2.903 (△ 2.903)	821,310 (△ 821,310)	-	-	
インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	11.415	1,234,080	-	-	
日本ヘルスケア投資法人	0.958	200,576	-	-	
積水ハウス・リート投資法人	12.456	1,671,571	-	-	
トーセイ・リート投資法人	1.112	132,468	-	-	
ケネディクス商業リート投資法人	7.289 (5.515)	1,917,913 (1,194,234)	-	-	
ケネディクス商業リート投資法人 PO	5.515 (△ 5.515)	1,194,234 (△ 1,194,234)	-	-	
ヘルスケア&メディカル投資法人	0.313	34,430	-	-	
ジャパン・シニアリビング投資法人	1.129	214,510	-	-	
野村不動産マスターファンド投資法人	4.5 (75.997)	679,034 (12,059,732)	-	-	
いちごホテルリート投資法人	3.765	424,212	-	-	
日本ビルファンド投資法人	7.163	4,056,140	0.675	385,039	
ジャパンリアルエステイト投資法人	7.484	4,208,188	0.46	257,685	
日本リテールファンド投資法人	10.971	2,562,972	2.796	640,150	
オリックス不動産投資法人	15.816 (1.491)	2,626,167 (222,855)	2.7	422,934	
オリックス不動産投資法人 PO	1.491 (△ 1.491)	222,855 (△ 222,855)	-	-	
日本プライムリアルティ投資法人	3.367	1,372,558	0.653	252,059	
プレミア投資法人	4.318 (26.46)	1,511,129 (-)	0.056	37,219	
東急リアル・エステート投資法人	1.685	247,925	8.541	1,278,705	
グローバル・ワン不動産投資法人	0.176	84,286	0.783	326,766	
野村不動産オフィスファンド投資法人	3.349 (△ 8.758)	1,872,015 (△ 5,193,141)	-	-	
ユナイテッド・アーバン投資法人	9.159	1,524,890	0.7	130,160	
森トラスト総合リート投資法人	2.245	524,839	0.78	180,003	

しんきんJリートマザーファンド ー第11期ー

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
国	インヴィンシブル投資法人	70.448	4,326,466	—	—
	フロンティア不動産投資法人	1.203	613,631	1.2	640,666
	平和不動産リート投資法人	0.771	68,653	0.65	58,645
	日本ロジスティクスファンド投資法人	2.84	654,066	0.2	45,132
	福岡リート投資法人	0.533	117,754	2.309	496,952
	ケネディクス・オフィス投資法人	2.258	1,374,403	0.04	22,974
	積水ハウス・S I レジデンシャル投資法人	14.314	1,838,612	3.35	360,290
	いちごオフィスリート投資法人	7.607 (9.052)	658,240 (807,547)	—	—
	いちごオフィスリート投資法人 P O	9.052 (△ 9.052)	807,547 (△ 807,547)	—	—
	大和証券オフィス投資法人	3.3 (0.27)	2,009,129 (157,423)	0.067	40,675
内	大和証券オフィス投資法人 P O	0.27 (△ 0.27)	157,423 (△ 157,423)	—	—
	阪急リート投資法人	0.043	6,586	2.246	304,630
	スターツプロシード投資法人	0.144	29,814	0.17	30,759
	トップリート投資法人	0.147	71,971	0.762	358,713
	大和ハウス・レジデンシャル投資法人	0.074 (4.87)	39,428 (—)	2.636	695,634
	ジャパン・ホテル・リート投資法人	27.764	2,202,607	8.63	726,672
	日本賃貸住宅投資法人	24.54	2,001,077	0.117	9,656
	ジャパンエクセレント投資法人	6.935	972,081	—	—
	合 計	388.609 (66.518)	73,812,075 (—)	48.946	10,129,540

(注1) 金額は受け渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切り捨て。

(注3) () 内は分割・償還による増減分で、上段の数字には含まれていません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年1月21日～2016年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年1月20日現在)

国内投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率
	口 数	千口	口 数	評 価 額	
日本アコモデーションファンド投資法人	6.014	13.243	5,178,013	2.4	
MCUBS Midcity投資法人	0.245	7.903	2,505,251	1.1	
森ヒルズリート投資法人	32.186	41.745	5,940,313	2.7	
野村不動産レジデンシャル投資法人	1.105	—	—	—	
産業ファンド投資法人	6.675	8.721	4,491,315	2.0	
大和ハウスリート投資法人	5.967	6.658	2,909,546	1.3	
アドバンス・レジデンス投資法人	19.367	18.822	4,686,678	2.1	
ケネディクス・レジデンシャル投資法人	4.836	7.6	2,062,640	0.9	
アクティビア・プロパティーズ投資法人	5.126	16.444	8,106,892	3.7	
GLP投資法人	46.282	63.503	6,896,425	3.1	
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	6.833	8.514	1,736,856	0.8	
コンフォリア・レジデンシャル投資法人 PO	0.626	0.434	86,691	0.0	
日本プロロジスリート投資法人	29.741	34.519	6,872,732	3.1	
野村不動産マスターファンド投資法人	25.003	—	—	—	
星野リゾート・リート投資法人	0.456	1.911	2,151,786	1.0	
イオンリート投資法人	14.356	19.201	2,236,916	1.0	
ヒューリックリート投資法人	18.37	24.267	3,962,801	1.8	
日本リート投資法人	1.337	11.254	2,813,500	1.3	
インバスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	2.894	14.309	1,355,062	0.6	
日本ヘルスケア投資法人	0.191	1.149	189,929	0.1	
積水ハウス・リート投資法人	6.935	19.391	2,264,868	1.0	
トーセイ・リート投資法人	1.119	2.231	241,171	0.1	
ケネディクス商業リート投資法人	—	12.804	2,983,332	1.4	
ヘルスケア&メディカル投資法人	—	0.313	32,082	0.0	
ジャパン・シニアリビング投資法人	—	1.129	144,963	0.1	
野村不動産マスターファンド投資法人	—	80.497	10,923,442	5.0	
いちごホテルリート投資法人	—	3.765	513,546	0.2	
日本ビルファンド投資法人	24.857	31.345	17,803,960	8.1	
ジャパンリアルエステイト投資法人	22.099	29.123	17,299,062	7.9	
日本リテールファンド投資法人	44.116	52.291	12,032,159	5.5	
オリックス不動産投資法人	39.576	54.183	8,214,142	3.7	
日本プライムリアルティ投資法人	16.288	19.002	7,344,273	3.4	
プレミア投資法人	4.753	35.475	4,285,380	2.0	
東急リアル・エステート投資法人	16.835	9.979	1,395,064	0.6	
グローバル・ワン不動産投資法人	2.511	1.904	744,464	0.3	
野村不動産オフィスファンド投資法人	5.409	—	—	—	
ユナイテッド・アーバン投資法人	47.845	56.304	8,580,729	3.9	
森トラスト総合リート投資法人	21.112	22.577	4,210,610	1.9	
インヴィンシブル投資法人	25.573	96.021	5,866,883	2.7	
フロンティア不動産投資法人	9.671	9.674	4,295,256	2.0	
平和不動産リート投資法人	6.786	6.907	520,097	0.2	
日本ロジスティクスファンド投資法人	14.291	16.931	3,685,878	1.7	
福岡リート投資法人	11.889	10.113	1,897,198	0.9	

しんきんJリートマザーファンド ー第11期ー

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
	千口	千口	千円	%	
ケネディクス・オフィス投資法人	8.193	10.411	5,611,529	2.6	
積水ハウス・S I レジデンシャル投資法人	11.094	22.058	2,099,921	1.0	
いちごオフィスリート投資法人	22.288	38.947	3,096,286	1.4	
大和証券オフィス投資法人	7.587	11.09	6,831,440	3.1	
阪急リート投資法人	5.52	3.317	395,718	0.2	
スターツプロシード投資法人	0.734	0.708	110,589	0.1	
トップリート投資法人	2.689	2.074	864,858	0.4	
大和ハウス・レジデンシャル投資法人	4.8	7.108	1,629,153	0.7	
ジャパン・ホテル・リート投資法人	71.613	90.747	7,586,449	3.5	
日本賃貸住宅投資法人	25.27	49.693	3,756,790	1.7	
ジャパンエクセレント投資法人	26.534	33.469	4,123,380	1.9	
合 計	口 数 ・ 金 額	735.597	1,141.778	215,568,033	
	銘 柄 数 < 比 率 >	49	51	< 98.3% >	

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 一印は組み入れなし。

○投資信託財産の構成

(2016年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資証券	215,568,033	97.8
コール・ローン等、その他	4,839,458	2.2
投資信託財産総額	220,407,491	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年1月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	220,407,491,407	
コール・ローン等	2,905,197,041	
投資証券(評価額)	215,568,033,300	
未収配当金	1,934,260,271	
未収利息	795	
(B) 負債	1,199,120,924	
未払金	199,120,924	
未払解約金	1,000,000,000	
(C) 純資産総額(A-B)	219,208,370,483	
元本	108,191,459,328	
次期繰越損益金	111,016,911,155	
(D) 受益権総口数	108,191,459,328口	
1万口当たり基準価額(C/D)	20,261円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は80,938,055,170円、期中追加設定元本額は36,000,591,869円、期中一部解約元本額は8,747,187,711円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、しんきんJリートオープン(毎月決算型)99,219,968,900円、しんきんJ-REITファンドII(適格機関投資家限定)5,529,333,184円、しんきんJリートオープン(1年決算型)2,320,936,171円、しんきんJ-REITターゲット115プラス(限定追加型)1,121,221,073円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2.0261円です。

○損益の状況 (2015年1月21日～2016年1月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	6,888,917,092	
受取配当金	6,784,342,256	
受取利息	252,095	
その他収益金	104,322,741	
(B) 有価証券売買損益	△ 35,710,860,432	
売買益	625,877,737	
売買損	△ 36,336,738,169	
(C) 当期損益金(A+B)	△ 28,821,943,340	
(D) 前期繰越損益金	108,439,258,653	
(E) 追加信託差損益金	41,398,108,131	
(F) 解約差損益金	△ 9,998,512,289	
(G) 計(C+D+E+F)	111,016,911,155	
次期繰越損益金(G)	111,016,911,155	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。